

改定墨田区公園マスタープランの体系図（案）

特徴 新設等による面積増は機会を捉えて進めるが、計画・予測・計算できないので、今ある公園を最大限活用するため、それぞれの公園で機能を相互補完していく。

（案）目指す公園像

（案）
みんなを健やかに、
まちをにぎやかにする公園

（理由案）
公園は子どもから高齢者まで幅広い世代が利用するものであり、利用者によって、遊びの場や憩いの場、コミュニケーション形成の場など利用方法は様々であり、その誰もが公園で快適に過ごし、心身共に健やかになることを目指していくこととした。
また、公園において、公園のためにもまちのためにもなる施設の設置や、区民や民間企業との連携により、公園からまちをにぎやかにすることを目指していくこととした。

（案）重視する視点

誰もが **快適に利活用**

重視する視点 1

「使う人・利用者」の視点

（キーワード）
子ども、子育て、高齢者

誰もが **快適に利活用**

重視する視点 2

「使い方、利用目的・役割」の視点

（キーワード）
健康・スポーツ、観光・にぎわい、環境

誰もが **快適に利活用**

重視する視点 3

「使われ方、管理運営・ルール」の視点

（キーワード）
管理運営・民生活力、安全・安心、DX

（案）取組、施策等

【「目指す公園像を実現するための手段」を検討するに当たり、「墨田区における公園の役割（5切り口）」+「公園の役割には含まれていない管理運営の切り口」の計6切り口で、取組を整理した。】

取組 1：「多様な活動」の切り口 （キーワード） レクリエーション、健康・運動、多様な活動の場	→	施策 1 - 1：（例）こどもの遊びの場（重点） 施策 1 - 2：（例）フレイル予防（重点） 施策 1 - 3：（例）インクルーシブ
取組 2：「まちの魅力向上」の切り口 （キーワード） にぎわい、魅力、景観、観光、歴史・文化	→	施策 2 - 1：（例）観光資源（歴・文化 桜）（重点） 施策 2 - 2：（例）水と緑のネットワーク 施策 2 - 3：
取組 3：「コミュニティ形成・活性化」の切り口 （キーワード） コミュニティ、地域活性化、市民活動	→	施策 3 - 1：（例）地域活動の場 施策 3 - 2： 施策 3 - 3
取組 4：「自然環境」の切り口 （キーワード） 環境保全、生物多様性、感性を育む、自然とのふれあい、学びの場	→	施策 4 - 1：（例）緑の保全 施策 4 - 2：（例） 施策 4 - 3
取組 5：「安全・安心」の切り口 （キーワード） 防災、防犯、	→	施策 5 - 1：（例）こどもの安全・安心（重点） 施策 5 - 2：（例）防犯カメラ 施策 5 - 3：
取組 6：「パークマネジメント」の切り口 （キーワード） 民間活力、官民連携、DX	→	施策 6 - 1：（例）DX（重点） 施策 6 - 2：（例）大学連携 施策 6 - 3：

【特記】「重視する視点」のキーワードに特に関連する施策を「重点施策」に位置付けた。

（案）計画の進行管理

【令和5年3月13日地域産業都市委員会に報告した「改定の方向性」】

少子高齢化や人口動態に伴うニーズ等の変化予測を踏まえ、量の確保よりも質や機能の特性を生かした、子育てしやすい公園を始めとする「**誰もが快適に利活用**できる公園」を目指すための理念・方針を定める。